

## 会社概要 (2012年5月31日現在)

商 号 株式会社アイケイコーポレーション  
本 社 所 在 地 〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階  
事 業 内 容 オートバイの新しい流通システムを提案する「バイク買取専門店」の経営  
設 立 1998年9月(創業1994年9月)  
資 本 金 585,650千円

## 役員 (2012年5月31日現在)

代表取締役会長 石川 秋彦 常勤監査役 増淵 洋吉  
代表取締役社長 加藤 義博 監査役 諏訪 浩  
取締役副社長 大谷 真樹 監査役 山口 達郎  
取締役 山縣 俊  
取締役 産形 昭夫

※1 取締役のうち、産形 昭夫氏は社外取締役であります。  
※2 監査役のうち、諏訪 浩、山口 達郎の各氏は社外監査役であります。

## 株主メモ

事業年度 12月1日から翌年11月30日まで  
定時株主総会 事業年度末日の翌日から3ヶ月以内  
定時株主総会の基準日 11月30日  
剰余金の配当基準日  
期 末 配 当 11月30日  
中 間 配 当 5月31日  
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社  
同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部  
〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号  
0120-232-711(フリーダイヤル)  
特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社  
同 連 絡 先 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部  
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号  
0120-288-324(フリーダイヤル)  
公 告 方 法 当社ウェブサイト(<http://www.ikco.co.jp/>)  
もしくは日本経済新聞

## 株式の状況 (2012年5月31日現在)

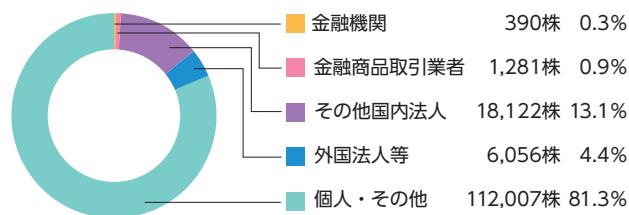
発行可能株式総数 .....普通株式 600,000株  
発行済株式の総数 .....普通株式 152,856株  
(自己株式15,000株を含む)  
株主数 ..... 2,726名

## 大株主

株主名	持株数	持株比率
石川秋彦	39,229株	28.5%
加藤義博	31,590	22.9
有限会社ケイ	9,000	6.5
株式会社ユー・エス・エス	7,733	5.6
石川ゆかり	4,289	3.1
アイケイコーポレーション従業員持株会	3,804	2.8
加藤信子	2,940	2.1
松山太河	2,719	2.0
メロンバンク エヌエーティー クライアント オムニバス	1,500	1.1
クレディット スイス アーゲー チューリッヒ	1,350	1.0

※1 当社は、自己株式を15,000株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
※2 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
※3 持株比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

## 所有者別株式分布状況



※1 持株比率は、自己株式を控除して計算しております。  
※2 持株比率は、小数点以下第1位未満を四捨五入して表示しております。

## 株主の皆様へ

# 第15期 中間株主通信

2011年12月1日～2012年5月31日



株式会社アイケイコーポレーション

2012年9月1日  
「株式会社バイク王&カンパニー」に  
社名変更いたします。

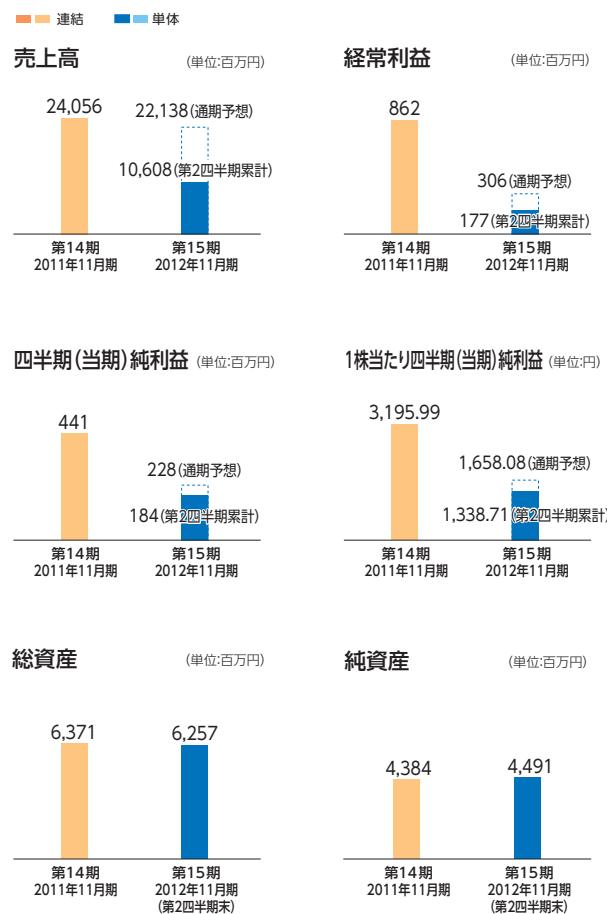


## 株式会社アイケイコーポレーション

〒150-0012 東京都渋谷区広尾1-1-39 恵比寿プライムスクエア18階  
TEL03-6803-8811 FAX03-3409-5050



## 財務ハイライト



代表取締役社長  
加藤 義博

代表取締役会長  
石川 秋彦

## ご挨拶

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2012年11月期 第2四半期(2011年12月1日～2012年5月31日)の事業概況についてご報告申し上げます。

## 第15期(2012年11月期)第2四半期の概況

当第2四半期累計期間における我が国経済は、東日本大震災の影響による停滞から持ち直しつつあるものの、欧州財政不安による世界経済の不安定要素の発生や長引く円高やデフレによる影響等、懸念すべき問題も多く依然として景気の先行きについては不透明な状況が続いております。

当社が属するオートバイ業界におきましては、国内に

おけるオートバイ保有台数は1,247万台(2010年3月末現在、出所:一般社団法人日本自動車工業会)といわれており全体として微減する傾向にあります。しかし、比較的市場価値の高い原付二種以上のオートバイの保有台数は僅かながら増加しております。また、当社グループの主たる販売先(出品先)である中古オートバイオークション市場においては相場が前年同期を若干下回って推移いたしました。

## ■中古オートバイ買取事業

このような状況のもとで、当社は、「バイク王」をコアブランドとする中古オートバイ買取事業のビジネスモデルの起点である広告宣伝活動において、中長期的な視点から収益構造の見直しを図ることを目的に、費用対効果の悪化している広告媒体への出稿を削減してまいりました。しかしながら、当第2四半期累計期間においては、一部の広告宣伝費の抑制等により、前年同期と比べお申し込み件数が減少いたしました。また、出張買取成約率(※)等のお申し込みから仕入に至るまでの主要な営業指標が前年同期を若干下回ったこともあり、販売台数が減少いたしました。一方で、平均売上単価は前年同期と同水準となりましたが平均粗利額は前年同期を若干下回って推移いたしました。

店舗数につきましては、店舗当たりの効率性を重視する戦略に基づき、採算性の低い店舗等を7店舗閉鎖しております。

以上の結果、直営店舗数は93店舗、セグメント間取引消去前の売上高は9,582百万円、経常利益は184

百万円となりました。

## ■オートバイ小売事業

オートバイ小売事業に関しては、「バイク王ダイレクトSHOP」を中心に、積極的な販売活動、小売販売店のブランディング強化を実施するとともに、将来的な店舗展開を視野に入れた店舗パッケージの検証を目的に、小売販売店を2店舗新規出店しております。また、パーツ販売店を1店舗閉鎖いたしました。

以上の結果、直営店舗数は10店舗、セグメント間取引消去前の売上高は2,137百万円、経常損失は15百万円となりました。

## ■オートバイ駐車場事業

「パーク王」ブランドにて展開するオートバイ駐車場事業に関しては、引き続き採算性を重視した事業地開発を実施するとともに不採算事業地の閉鎖を進めることで、事業地開発と損益のバランスのとれた事業展開に努めてまいりました。

以上の結果、セグメント間取引消去前の売上高は175百万円、経常利益は8百万円となりました。

この結果、当第2四半期累計期間における業績は、売上高10,608百万円、営業利益100百万円、経常利益177百万円、四半期純利益184百万円となりました。

※出張査定においてオートバイの査定金額をオートバイユーザーに提示した際に取引成約に至る割合。

※2012年3月1日付で連結子会社であった株式会社パーク王を吸収合併したため、当第2四半期連結会計期間末の連結財務諸表を作成していません。このため第15期(第2四半期)については単体での記載となっております。

### 第15期(2012年11月期)通期の見通し

当社は、2012年11月期第2四半期より非連結決算に移行しております。また、最近の業績動向を踏まえ、2012年11月期個別業績予想を公表しておりますので、お知らせいたします。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
今回発表【個別】(A)	22,138百万円	194百万円	306百万円	228百万円	1,658円08銭
(ご参考)前回発表【連結】(B)	24,050百万円	885百万円	934百万円	487百万円	3,534円30銭
(ご参考)増減額(A-B)	▲1,912百万円	▲690百万円	▲627百万円	▲258百万円	-
(ご参考)増減率(%)	▲8.0%	▲78.0%	▲67.2%	▲53.1%	-
(ご参考)前期実績【連結】(平成23年11月期)	24,056百万円	802百万円	862百万円	441百万円	3,195円99銭

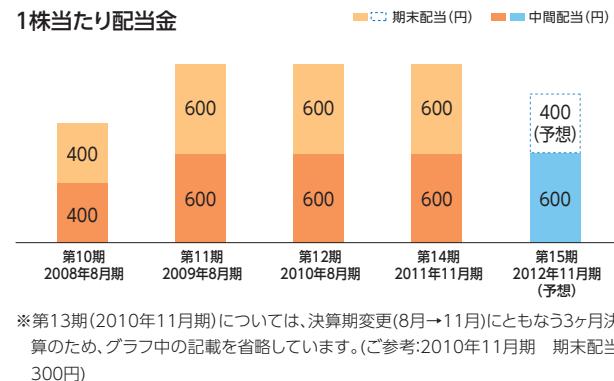
※詳細につきましては、当社HP(<http://www.ikco.co.jp/>)に掲載の2012年7月6日開示「2012年11月期 第2四半期 説明資料」をご参照下さい。  
また、2012年7月9日開催の第2四半期決算説明会の動画も右記URLよりご確認ください。(http://www.net-ir.ne.jp/e-pre/33771207/wb/index.html)

### 第15期(2012年11月期)配当について

当社は、業績・事業計画等を総合的に勘案し、安定的な配当を実施していくという配当方針を掲げております。

この基本方針に基づき2012年11月期の配当金の予想につきましては、1株当たり中間600円、期末600円(年間1,200円)としておりましたが、2012年6月29日に公表いたしました業績予想を踏まえ、中間600円を実施し、期末400円(年間1,000円)に修正することといたしました。

当社は、「オートバイライフの総合プランナー」の実現に向け、オートバイユーザーの皆様がより安心してオートバイライフを満喫できるよう全力でサポートするとともに、社会に愛される企業を目指し、市場の活性化、リユース・リサイクルを通じた社会・環境問題に貢献してまいります。



### 横浜物流センターを開設 (業務資本提携の経過報告)

2012年5月、USS※1横浜会場内にJBA※2主催のバイクオークションがスタート。当社は、物流拠点の集約による商品提供の迅速化等を目的に、会場内に横浜物流センターを開設いたしております。

※1 株式会社ユー・エス・エス ※2 株式会社ジャパンバイクオークション



### 「バイク王ダイレクトSHOP50号 小山店、17号上尾店」オープン!

第二の成長の柱であるオートバイ小売事業で展開する「バイク王ダイレクトSHOP」を2店舗オープン。また、2012年6月1日には、「16号柏店」を出店しており、今期末には11店舗展開となる予定です(前期末8店舗)。

【50号小山店】

【17号上尾店】



## 2012年9月1日より、「株式会社アイケイコーポレーション」は、 「株式会社バイク王&カンパニー」に社名変更いたします。



**BIKE-O  
& COMPANY**  
株式会社 バイク王&カンパニー

会社名：株式会社バイク王&カンパニー  
英文社名：BIKE O & COMPANY Ltd.

新社名には、『バイク王』に集う『仲間(カンパニー)』と共に夢を実現すること、バイク王ブランドのもと「オートバイライフの総合プランナー」へと進化を遂げる、という決意を込めています。

ロゴマークの赤いラインは「王」をモチーフに広がる道、世界を表し、球体はグローバルに展開する事業領域を象徴しております。

「オートバイライフの総合プランナー」実現に向けて

買取販売



全国の各店舗からお客様のご自宅へ、ご指定の時間に専門の査定員が訪問する無料出張買取。独自開発のITシステム「i-kiss」に支えられた全国統一の査定基準による明瞭かつ適正な買取価格の提示。煩雑な手続きの無料代行。当社は、常にオートバイユーザーの立場で考え、その利便性を徹底的に追求してまいりました。お客様本位のサービスをお届けし、ユーザーに信頼され選ばれるブランドであるべく、スタッフ一丸となって日々の業務に取り組んでいます。



2011年二輪中古車買取台数株式会社矢野経済研究所調べ (2012年4月現在)



バイク王の強み

ポイント1 24時間365日受付

インフォメーションセンターにおける24時間365日無休の申し込み受付。「今すぐ」というご要望にもクイックレスポンスでお応えします。



ポイント2 無料出張買取

お客様がご希望の日時に、ご自宅へ査定員が訪問します。携帯端末で査定し、成約の場合はその場で買い取りを行います。



ポイント3 手続き代行

お譲りいただいたオートバイに関する名義変更、廃車手続きなど、売却時に発生する煩雑な手続きを無料で行います。



ポイント4 全国展開

「全国どこへでも無料出張買取」を可能にしたスケールメリットを活かし、お客様への迅速な対応を行うほか、看板効果による認知度拡大にも努めています。



小売販売



高い認知度を誇る「バイク王」のブランド力を源泉に、全てのオートバイユーザーをターゲットとした小売販売店。豊富な取扱車種、市場を加味したリーズナブルな価格、「バイク王」と連携した独自のサービスを展開し、ユーザーと「ダイレクト」に結ばれるオートバイショップを目指します。



オートバイ駐車場



時代のニーズに合わせた、都市型展開のオートバイ駐車場。時間貸し、月極の両面からユーザーをサポート。交通環境の整備促進、違法駐車車の低減にも寄与。狭小地、変形地などの有効活用も可能な公共性の高い事業です。



パーツ販売



全国展開する「バイク王」から高品質な中古バイクパーツを厳選し、WEBで販売。現行モデルから他では売っていない旧モデルまで豊富な商品を取り揃え、オートバイユーザーの多様なニーズにお応えしております。

海外取引



各国のニーズに応じた販路を、新たに開拓するための海外取引ブランド。海外マーケットでの、個人・法人をターゲットとした新たなビジネスを模索しています。